

ふるさと 通信員だより

vol.181



私が町内の身近な
話題を紹介します♪

たかだ てつこ
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



93年の歴史に幕を閉じる昭和小学校(大庭奈穂子校長、児童13人)で閉校記念の植樹を行いました。
運動会の閉会後に大庭校長と武藤義徳PTA会長、閉校事業協賛会の大熊秀之会長、児童会長の小川葉さん(6年)が、みんなが見守る中、高さ約3・5メートルの桜の木(エゾヤマザクラ)2本をグラウンド東面に植えました。小川さんは「元気に育って欲しい、毎年見に行きたい。」と思いを話してくれました。
毎年元気に花を咲かせてくれることを願い、閉校記念にあわせた桜は昭和地区の歴史や伝統を語り継ぐシンボルとなりました。



地区のシンボルに



第47回音更町老人大運動会(老人会会員3700人)が、ふれあい広場で開催されました。
赤、白、青、黄色の4組に分かれて1354人が、13種目の競技を競いました。
白組の応援団長を務めた西脇健治さん(78)の迫力ある応援が名物となり今年も注目を集めました。西脇さんの背中には「日本がんばれ」と書いた白の衣装にハチマキ、白扇子での出で立ち今年で5年目。「ビィビィ、ビィビィ、ビィビィ」と迫力ある笛の音に合わせ応援にも力が入り、暖かい声援と拍手喝采で運動会をさらに盛り上げました。



名物の応援団長